

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	健康増進事業		
事業担当	健康・こども部 健康課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心して暮らせる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	健康増進法		
対象・受益者	20歳以上の市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 医師】		
	目的・目標		事業の概要
生活習慣病の予防により、市民の健康増進が図られています。		生活習慣病の予防のため、知識の普及・啓発を目的とした健康教室を開催します。また、病気の早期発見とその原因となる生活習慣の改善のため、各種健(検)診を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	健康教室の開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	108	100	93		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
成果指標①	指標名	がん検診受診者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	41,743	42,373	45,356		
成果指標②	指標名	がん検診受診率			単位	%
	説明・算定式	受診者数÷延べ対象人数×100				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	14.1	14.3	15.3		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
<p>がんの早期発見と正しい健康意識の普及・啓発のため、平成26年度に引き続き「がん検診推進事業」や保健センターでの講演会及び市役所でパネル展示等を実施しました。健康教育では女性の健康づくりとして、子宮がん・乳がんについて知識やがん検診受診の重要性について行いました。また、乳幼児連れで安心して受診できるよう、集団検診会場で保育実施の日を6日設けました。さらに、地域等を訪問し健康講座を実施しました。これらの結果がん検診の受診者数は増加しました。</p>						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	健康増進法に基づく事業であるとともに、勤務先等で受診機会のない市民に対し、実施の必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続して事業を行うことにより、健康や疾病予防への意識を高めることができることから、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	適正な受益者負担や対象者、条件を含め検討する必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	集団検診の民間委託の可能性や一部集団検診でのみしか実施していない事業形態を再検討しコスト削減等に取り組む必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 生活習慣病の重症化予防の一環として推進するがん予防のための健康意識の普及と、早期発見のための受診者数向上への取組みが必要です。また、新しい検診方法の導入や一部項目の対象年齢の見直しの検討も必要になります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		健康教育、各種がん検診、各種健康診査事業等の実施	健康教育、各種がん検診、各種健康診査事業等の実施	健康教育、各種がん検診、各種健康診査事業等の実施
財源内訳	国庫支出金	11,612	5,386	2,690
	県支出金	7,430	15,805	16,028
	起債	0	0	0
	その他 特財	124	124	98
	一般財源	215,149	212,110	230,307
事業費 (A)		234,315	233,425	249,123
執行率 (%)		95.31	85.68	99.55

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 生活習慣病の発症予防やがん予防を含めた重症化予防のための普及啓発を行うとともに、さらに受診しやすい環境づくりを進めます。また、保健総合管理システムを活用し、未受診者への対応等、受診率向上に向けて市民周知の工夫、実施方法等の見直しも引き続き検討します。
課長コメント 平塚市健康づくり推進条例の基本理念に基づき、市民、地域団体、事業者及び市の協働による健康長寿の地域社会の実現に向けた取組みを実践します。さらに、病気の早期発見・早期治療のために検診を継続的に受けるよう、啓発、勧奨の方法、受診環境について、工夫・検討していくことが重要と考えます。